

よねさとづくり通信 No.154

よねさとづくり協議会
令和4年12月1日発行



今年もあと1か月です。各町内会では新年に向けて総会等を開催されるかと思いますが、集まる機会も減り、年々どこも運営は難しくなっているようです。コロナ禍での年末も3年目。地域の中も回していかなければなりません。対策を徹底したうえで、この機会にしっかり話し合い、将来に引き継いでいけるようにしたいものです。

米里まつり、賑やかに

10月22日(土)と23日(日)、地区体育館や小学校の体育館とグラウンドを会場に「米里まつり2022」が開催されました。好天に恵まれ、屋外での中学生のよさこいソーランや、中大路だるま踊りで賑やかにオープン。集まった皆さんの笑顔でいっぱいでした。

2日間で約800人にお越しいただきました。準備いただいた皆さん、運営に当たっていただいた皆さん、作品展などに出席いただいた皆さん、ありがとうございました。

*2日間の様子は、後日、特集号でお届けします(12月10日発行予定)。



生活交通確保に向けての検討状況

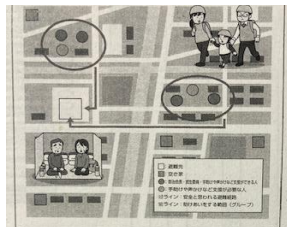
今年7月に設置した検討委員会も2回開催され、当面の取り組みについて意見が交わされました。

- 第1回・・・地区からの要望を踏まえ検討された乗合タクシーの見直し案についてバス事業者より説明
- 第2回・・・見直し案をもとに、地区としての当面の取組みとあわせ、住民の意向把握方法について検討

乗合タクシーの運行経路等の見直しについては、新年度からとなる見込みです。いずれにしても、今後の利用が増えなければ廃止が現実のものとなります。

路線バスや鉄道などの公共交通(公助)は、なくなってから復活させることは極めて難しいです。生活に欠かすことのできない移動手段を確保するため、また、持続可能な暮らしを見据えて、マイカー(自助)がほとんどの日常生活の中に少しずつでも公共交通の利用を取り入れていきましょう。

(鳥取県社会福祉協議会の広報紙より)



「感染予防しながら取り組む！
支え愛マップづくり
～顔の見える関係をめざして～」



YouTubeの掲載URL
(https://youtu.be/4ByGD_J2V_o)

町内会より ～ 久末 ～

久末地区について紹介させていただきます。

地域は南北に細長く、フェライト工場あたりから七谷堤への入口の道路近くまであり、広い中に現在は35戸で編成されています。若い世代も多いですが、今は小学生の数も少しずつ減り、ここ数年で戸数も減少しているため、将来が心配な状況であります。コロナ禍で様々な条件が重なり、楽しみであった納涼祭もなくなり、全体での行事もなくなりました。しかし、その中で10月の米里まつりに、有志の方がおこわ販売を若い世代の方としておられ、これからは楽しみだと感じています。全世代が何かしら多少参加できるものがあれば活気づくと思いますが、今後そうなるように願っています。

話は変わりますが、久末地区センターの公園にある桜は春になると見事な花を咲かせ、川面とのコントラストがとてもきれいですので、一度ご覧いただければと思います。

(久末区長 西尾勇治)



身近なつなぎ役 ～民生児童委員の紹介～

民生児童委員の任期は3年間(12月1日から)で全国一斉に改選が行われ、地区からの推薦に基づき厚生労働大臣から委嘱されます。このたびお世話になる8名の委員の皆さんは下表のとおりです。

退任される下田万起子さん(2期6年)、浦田和枝さん(1期3年)のお二人には、困りごと等の相談に応じ専門機関とつないでいただくなどお世話になりました。ありがとうございました。

	氏名	担当地区	氏名	担当地区
民生委員	尾崎裕子(越路)	越路、久末、古郡家、美和、長砂	徳長典子(東大路)	東大路、中大路、西大路
	永間美智子(雲山南)	雲山南(1~8班)	福田義政(雲山南)	雲山南(9~16班)
	黒田玉紀(東雲山)	東雲山	岡田正行(雲山中央)	雲山中央
主任児童委員	福田千鶴子(古郡家)	旧米里	青野佳子(雲山中央)	雲山

太字が新任のかたです。

(敬称略)

人と人とのつながりが希薄化する中で、地域の皆さんの声に気づき、寄り添い、身近な相談相手として活動されています。町内会長や関係団体の皆さんらと連携して地域福祉を支えています。

よろしくお祈りします、

支え愛マップづくりでつながりを

日常生活でも災害時でも、地域の中でつながりがなければ支え合うことは困難です。皆で安心安全に暮らせる集落づくりに向けてマップを作り、その後、定期的に訓練し、更新していきましょう。

これから雪の季節。積雪次第では日常生活に支障が生じてきます。今の時期、除雪支援が必要な場所など再確認してはいかがでしょうか。